

論述ブースト No.2

医師志望の動機を"医学の言葉"で書く ― 志望理由書を感動談から論証へ

導入文

「祖父の死を見て医師を志した」という書き出しで始まる志望理由書は、審査側には「動機の説明」と読まれ、「なぜこの人が医師でなければならないか」の論証にはなっていない。本講座では、医学・医療の構造的な理解を背景に、志望動機を論証へ変換する技術を教える。

講義概要

志望理由書を感動体験の報告から、医療・医学の課題に対する自分の立場の表明へ変換する。日本の医療構造・地域医療・医師の役割といった大学教養レベルの文脈を踏まえた上で、「なぜ医師か・なぜこの大学か・なぜ今か」の三軸で論証する方法を整理する。

授業目標：志望理由書を体験の報告から、医療課題への立場表明＋論証へ変える。

対象者：高2～高3・浪人生。医学部・医療系の総合型選抜・学校推薦型選抜を受験予定で、志望理由書・面接の論理的な表現力を高めたい生徒。

授業時間：授業90分＋演習・質疑応答30分

到達目標：「なぜ医師か」を医療構造から論じられる／三軸（医師・大学・今）で論証を組み立てられる／感動談だけに頼らない志望理由書が書ける

授業構成（90分）＋演習・質疑応答（30分）

授業90分：1 導入：「感動談で終わる」志望理由書と「論証ある」志望理由書と比較 2 概念導入：日本の医療構造・地域医療・医師の現実を整理 3 核心：三軸（なぜ医師か・なぜここか・なぜ今か）の論証枠を構築 4 演習：各軸を一段落で書く練習 5 統合：三軸を繋いだ志望理由書の骨子を完成 6 まとめ：「体験→課題認識→立場表明→論証」の流れを固定

追加30分：骨子への相互フィードバックと「なぜ医師か」の口頭説明練習を行い、面接との接続について質疑応答を行う。

板書・スライド骨子：感動談と論証の違い／日本の医療課題の概観／三軸の論証枠／志望理由書の骨子テンプレート

課題：「なぜ医師か」「なぜこの大学か」「なぜ今か」を各150字で書き、最後に三軸を統合した400字版を作る。

備考：高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。